

**2026（令和8）年度
神奈川県立保健福祉大学大学院
保健福祉学研究科保健福祉学専攻
【博士後期課程】**

学 生 募 集 要 項

目 次

1. 募集人員および取得できる学位	2
2. 出願資格	2
3. 出願前相談	2
4. 出願手続き	3
5. 出願資格審査申請	6
6. 出願の際の注意事項	7
7. 選抜方法	7
8. 合格発表・入学日	8
9. 入学手続・初年度納付金	9
10. 特待生制度	10
11. 教育課程の概要	11
12. 研究指導に関わる教員の研究テーマ及び事前相談連絡先	12
13. 試験結果の開示について	17
14. 出願・受験・入学までの流れ	17

【書式等】

志願票 < A票 >
受験票、写真票 < B票、C票 >
研究計画書 < D票 >
研究業績等調書 < E票 >
出願用履歴書 < F票 >
出願資格審査申請書 < G票 >
入学検定料収入済証明書 < H票 >



公立大学法人

神奈川県立保健福祉大学

KANAGAWA UNIVERSITY of Human Services

教育理念

急激に進行する少子・高齢社会等の到来を見据え、「保健・医療・福祉にかかわるヒューマンサービスの今日の実践・明日の実践・未来の実践を牽引し、先導することに資する教育・研究の推進」を教育理念として掲げています。

この教育理念に基づき、本教育課程においてヒューマンサービスの実践を「看護学」「栄養学」「社会福祉学」「リハビリテーション学」の観点から学際的に探究する対人援助の学問に取り組み、ヘルスケアとソーシャルケアの有機的連携を基盤とした科学的研究成果を産出することを目指します。

入学者受け入れ方針（アドミッションポリシー）

本学大学院保健福祉学研究科博士後期課程の教育理念を達成し、保健福祉分野の次世代の教育者・研究者・高度実践者を育成するため、本研究科では以下のような要件を備えた学生を求めています。

1. 人や人を取り巻く社会に関する深い理解を求め、保健福祉学の発展に貢献する意欲のある人
2. 保健・医療・福祉の課題を、科学的・論理的にかつ多角的に研究するための基礎的な能力を備えている人
3. 専門職や当事者と協働し、各種システムと連携して、課題を解決する素養を備えている人
4. 地域社会の保健・医療・福祉分野のリーダーまたは管理者、教育・研究者、政策立案者として貢献する意志のある人またはそのようなキャリアパスを期待されている人

入学者選抜試験では、以上の観点に立って、主要論文及び今後の研究計画についてのプレゼンテーションにより専門知識などを、面接選考においては課題解決へ向けて意欲的に研究に取り組もうとする力を、総合的に評価します。

注意事項

連絡が必要になった場合や選抜方法、募集要項の記載に変更が生じた場合は、本学 Web サイト上に情報を掲載しますので、ご注意ください。

1. 募集人員および取得できる学位

保健福祉学研究科保健福祉学専攻	学 位	募集人員
	博士（保健福祉学）	5 名

2. 出願資格

出願できる者は、次のいずれかに該当する者としてします。

- (1) 修士の学位や専門職学位を有する者又は2026年3月までに取得見込みの者
- (2) 外国において、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者又は 2026 年 3 月までに授与される見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育を我が国において履修し、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者又は 2026 年 3 月までに授与される見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者又は2026年3月までに授与される見込みの者
- (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者又は 2026 年 3 月までに授与される見込みの者
- (6) 文部科学大臣の指定した者
 - ① 大学等を卒業し、大学、研究所等において 2 年以上研究に従事した者で、本学大学院において、修士の学位を有する者と同等の学力があると認めた者（平成元年文部省告示第 118 号）
 - ② 外国において学校教育における 16 年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2 年以上研究に従事した者で、本研究科において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
- (7) 本研究科において、出願資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、2026 年 3 月 31 日までに 24 歳に達する者

※(6)、(7)で出願することを希望する者は、事前に出願資格審査を受ける必要があります。（「5. 出願資格審査申請（該当者のみ）」をご覧ください。）

3. 出願前相談（必須）

3.1 出願前相談（必須）

出願しようとする者は、大学院入学後の履修計画や研究計画について、指導を受けようとする教員と事前に相談をする必要があります（必須）。

相談の申込みは電子メールにより受け付けます。以下の出願前相談申込メール受付期間に、12ページ以降

の各教員の連絡先メールアドレスへ、件名を「博士後期課程出願前相談申込」としたメールを送信してください。メールの本文には、①志願者氏名、②連絡先（メールアドレス、電話番号）、③最終学歴、④大学院での研究テーマの概要を記載してください。受付後、指導を受けようとする教員から具体的な相談の方法について、メール又は電話により返信します。

摘 要	期 間
出願前相談申込メール受付期間（一次募集）	2025年5月30日（金）～2025年8月6日（水）17時
〃（二次募集）	2025年11月13日（木）～2026年1月21日（水）17時

※一次募集において定員を充足した場合には、二次募集はいたしません。

- ・ 出願前相談を行わないと出願できません。
- ・ メールを送信してから5日経過しても返信がない場合は、本学事務局企画・地域貢献課大学院入試担当までお問い合わせください。

3.2 障害を有する等、受験上及び修学上の特別な配慮を必要とする場合（該当者のみ）

- (1) 障害等により、受験上及び修学上特別な配慮を必要とする場合は、以下の特別措置申出期間中に、本学事務局企画・地域貢献課大学院入試担当にメールでご相談ください。

摘 要	期 間	連絡先
特別措置申出期間 （一次募集）	2025年5月30日（金）～2025年7月16日（水）17時	nyusi@kuhs.ac.jp
特別措置申出期間 （二次募集）	2025年11月13日（木）～2026年1月7日（水）17時	

※上記期間を過ぎた場合も可能な範囲で対応しますが、出願前のなるべく早い時期に申し出てください。

- (2) 配慮の内容や必要に応じて、志願者と面接を行います。
- (3) 本学所定の特別措置申請書（希望する受験上の配慮等の記入）、診断書等の提出が必要となります。
- (4) 事前の相談内容及び提出書類をもとに検討し、受験上許可する配慮事項を通知します。

4. 出願手続き

4.1 出願に必要な書類

出願には以下の書類が必要です。なお、「5. 出願資格審査申請」で出願資格が認定されなかった場合や「3. 出願前相談」を行っていない場合は出願できません。

様式は本学Webサイトからダウンロードしてください。

書類の種類と名称		記入上の注意点
A 票	志願票	本学所定用紙に必要事項を漏れなく記入してください。

書類の種類と名称		記入上の注意点
B 票	受験票	1) 所定の様式を使用してください。 2) 写真(脱帽・上半身・正面縦4cm×横3cmのもので出願前の3か月以内に撮影したもの)を貼付してください。
C 票	写真票	
D 票	研究計画書	本学所定用紙に必要事項を漏れなく記入してください。
E 票	研究業績等調書	本学所定用紙に必要事項を漏れなく記入してください。既に出願資格審査で提出済みの者は再提出する必要はありません。
F 票	出願用履歴書	本学所定用紙に必要事項を漏れなく記入してください。既に出願資格審査で提出済みの者は再提出する必要はありません。
主要論文(※)		・単著又は筆頭著者として執筆した主要論文(修士論文も可)を1編以上3編以内(現物又は別刷、コピー)添付してください。 ・主要論文が修士論文の場合はその要旨を添付してください。 2026年3月修士課程修了見込みの者は、主要論文にかえて研究経過の要旨を提出することも可能です。修士論文、研究経過の要旨は2000字程度とします(A4判縦型、横書、手書き可)。 ・既に出願資格審査で提出済みの者は再提出する必要はありません。
TOEFL iBT® (Home Editionも可)の成績(※)		・2023年4月1日以降に受験したTOEFL iBT® (Home Editionも可)のスコアを有効とします。 ・試験主催者から本人に送付された『Test Taker Score Report』(コピー不可)を提出してください。 ・出願までに提出が間に合わない場合は、画面のスコアをプリントアウトしたものを提出してください。ただし、試験当日までに『Test Taker Score Report』(コピー不可)の提出が必要です。 ・自宅受験『TOEFL iBT® Home Edition』の詳細については、試験実施団体のWebサイトでご確認ください。
修了(見込)証明書又は卒業(見込)証明書(※)		1) 出身大学において作成したものを提出してください。ただし、学位を大学評価・学位授与機構から授与された者は、学位授与証明書(大学評価・学位授与機構に学位を申請中の者は学位授与申請受理証明書)(原本)を提出してください。 2) 「2. 出願資格」(2)から(5)に該当する者については、別途指示することがあります。 3) 既に出願資格審査で提出済みの者は再提出する必要はありません。
最終学校成績証明書(※)		最終出身学校において作成したものを提出してください。既に出願資格審査で提出済みの者は再提出する必要はありません。
受験票等返送用封筒		受験票等の返送用として使用しますので、定型外角形2号の封筒に、志願者の郵便番号、住所、氏名を記入し、440円分の切手を貼付してください。

書類の種類と名称		記入上の注意点
H票	入学検定料収入 済証明書	検定料を出願期間内に、本学指定の銀行口座へ「電信扱い」で納付してください。納付後、入金したことが分かる証明書を本学所定用紙（H票）に貼付してください。 納付期限 一次募集：2025年8月17日（日） 二次募集：2026年2月1日（日）までです。

（※）について、他の出願書類と姓が異なる場合には戸籍抄本または戸籍個人事項証明書を添付してください（受験票送付の際に返却します）。

4.2 出願の方法

- (1) 出願は郵送に限ります。直接持参しての出願は受け付けません。
- (2) 出願書類をそろえて、封筒に志願者の氏名、住所を記入し、簡易書留で郵送してください。
- (3) 出願期間内の消印のあるもののみ有効です。
(出願期間より前の消印のものも受け付けませんので注意してください。)

4.3 出願期間

〔一次募集〕 2025年 7月26日（土）～ 8月17日（日）

〔二次募集〕 2026年 1月10日（土）～ 2月 1日（日）

※一次募集において定員を充足した場合には、二次募集はいたしません。

4.4 出願先

〒238-8522 神奈川県横須賀市平成町 1-10-1

神奈川県立保健福祉大学事務局 企画・地域貢献課 大学院入試担当 あて

4.5 入学検定料

入学検定料（30,000 円）を出願期間内に、本学指定の銀行口座へ「電信扱い」で納入してください。振込人名義は志願者本人の氏名としてください。

【振込み方法】

下記のいずれかの方法により、納入してください。

- 1) 金融機関の窓口 2) A T M（現金自動預け払い機） 3) インターネットバンキング

【検定料振込先】

銀行：三井住友銀行 金沢八景支店

店番：567

預金種目：普通

口座番号：7031169

口座名義：公立大学法人 神奈川県立保健福祉大学

【入学検定料収入済証明書】

検定料を納入したのち、検定料を指定口座に入金したことが分かる書類（原本）を本学指定の入学検定料収入済証明書（H票）に貼付し、出願書類と併せて提出してください。

<指定口座に入金したことが分かる書類の例>

- 1) 振込証明書 2) 利用明細 3) 振込完了画面を印刷したもの 等

5. 出願資格審査申請(該当者のみ)

「2. 出願資格」の(6)、(7)に該当する者が出願を希望する場合は、出願資格審査により出願資格の認定を受ける必要があります。

5.1 出願資格審査申請期間等

① 出願資格審査申請期間

〔一次募集〕 2025年 7月 4日(金)～ 7月16日(水) (期間内の消印有効)

〔二次募集〕 2025年12月 4日(木)～ 12月16日(火) (期間内の消印有効)

※一次募集において定員を充足した場合には、二次募集はいたしません。

② 出願資格審査結果の通知

審査の結果は一次募集：2025年7月24日(木)、二次募集：2026年1月9日(金)頃までに申請者本人あてに郵送する予定です。審査の結果、出願資格なしと判定された場合は出願することはできません。

5.2 出願資格審査申請書類および提出方法

出願資格審査に必要な書類は次の通りです。

下記の書類を定型外角形2号の封筒に入れ、郵送(簡易書留)により、提出してください(出願は郵送に限ります)。

様式は本学Webサイトからダウンロードしてください。

提出書類		説明
E 票	研究業績等調書	本学所定用紙に必要事項を漏れなく記入してください。
F 票	出願用履歴書	本学所定用紙に必要事項を漏れなく記入してください。
G 票	出願資格審査申請書	本学所定用紙に必要事項を漏れなく記入してください。
卒業(修了)証明書又は 卒業(修了)見込証明書(※)		出身学校において作成したものを提出してください。
最終学校成績証明書(※)		出身学校において作成したものを提出してください。
主要論文(※)		単著又は筆頭著者として執筆した論文2編(そのうち1編以上は査読付論文)を提出してください。
審査結果通知用郵便料		790円分の切手を同封してください。

(※)について、申請書と姓が異なる場合には戸籍抄本または戸籍個人事項証明書を添付してください(審査結果を郵送する際に返却します)。

5.3 出願資格審査申請書類提出先

〒238-8522 神奈川県横須賀市平成町 1-10-1

神奈川県立保健福祉大学事務局 企画・地域貢献課 大学院入試担当 あて

6. 出願の際の注意事項

- (1) 出願書類がすべてそろっていない場合には受理できませんので、出願の際には十分確認してください。
また、出願書類として指示されている書類以外を提出されても受理しませんので注意してください。
受理しない書類の返送費用は出願者負担となりますので注意してください。
- (2) 出願書類は原則返却しません。ただし、やむを得ない事情で原本の返却を希望する場合は、事前にご相談ください。
- (3) TOEFL iBT® (Home Editionも可) 本人宛てスコア「Test Taker Score Report」(コピー不可)の提出が必要です。試験実施日等の詳細は試験実施団体のWebサイトを参照し、出願に間に合うように取得してください。※2023年4月1日以降受験のスコアに限ります。
※出願までに提出が間に合わない場合は、画面のスコアをプリントアウトしたものを提出してください。ただし、試験当日までに「Test Taker Score Report」(コピー不可)の提出が必要です。提出できない場合は受験無効となります。また、TOEFL iBTの『Test Taker Score Report』は、受験日から2年以上経過すると取り寄せることができなくなる場合がありますので、ご注意ください。
- (4) 英語以外の外国語で作成された書類には、必ず日本語訳を添付してください。
- (5) 貼付する写真はすべて同一のものを使用してください。
- (6) 出願後の書類の内容変更は認められません。ただし、氏名、住所、電話番号に変更があった場合は、本学事務局 企画・地域貢献課大学院入試担当まで連絡してください。
- (7) 受験票(B票)は、出願受付後に受験者本人あてに郵送します。一次募集：2025年9月9日(火)、二次募集：2026年2月13日(金)までに届かない場合は、本学事務局 企画・地域貢献課大学院入試担当まで連絡してください。
- (8) 入学を許可した後であっても、提出された出願書類の記載と相違する事実が発見された場合には、入学を取り消すことがあります。
- (9) 一度受理した出願書類及び入学検定料は返還しません。

7. 選抜方法

7.1 選抜試験日時および内容

入学者の選抜は、口述試験の成績および出願書類を総合して行います。

口述試験は5人の面接官による個人面接形式で行います。主要論文及び今後の研究計画についてのプレゼンテーションを約10分、研究計画及び専門的知識を問う内容を含む面接を約20分行います。

なおプレゼンテーションは、液晶プロジェクター又は配付資料を用いて行うことができます。前者の方法を選択する場合は、プロジェクターに接続するパソコン(発表ファイル入力済み)を各自で持参してください。後者の方法を選択する場合は、配付資料を用意してください。詳細は受験票発送時にお知らせ致します。

◎一次募集

年月日	試験区分	時 間
2025年9月20日（土）	口述試験（30分）	8:30集合（予定）

◎二次募集

年月日	試験区分	時 間
2026年2月27日（金）	口述試験（30分）	8:30集合（予定）

※一次募集において定員を充足した場合には、二次募集はいたしません。

7.2 受験の際の注意事項

- (1) 本学受験票（B票）を必ず持参してください。
- (2) 携帯電話等の電子機器の電源、時計のアラーム等は、試験会場に入る前に必ず切ってください。
- (3) 試験までの待機時間は係員から指示のあった部屋で待機してください。
- (4) 本学までの経路はあらかじめよく確認してください。
- (5) 試験当日は、本学敷地へ自動車・オートバイ等の乗入れはできません。
- (6) 試験会場（本学）には受験者以外は入場できません。介助を必要とする方は出願前相談の際にお申し出ください。
- (7) その他必要が生じた場合には、受験票送付の際に通知します。
- (8) 試験当日に、大学周辺で合格電報等の受付を行う者がいても、神奈川県立保健福祉大学とはいっさい関係ありません。トラブル等が生じてても本学としては責任を負えませんのでご注意ください。
- (9) 新型コロナウイルス感染症等に関する要請事項
 - ① 新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが、5類に移行しました。そのため、試験当日に罹患等により受験できなかった場合でも、再試験等の措置は行いません。
 - ② 試験当日は試験室の換気のため窓の開放等を行う時間帯があるため、体温調節のしやすい服装で受験してください。

7.3 入学者選抜方法の変更について

今後、必要が生じた場合には、募集要項に記載されている選抜方法とは異なる方法で選抜を実施することがあります。選抜方法に変更が生じた場合には、本学Webサイトへ掲載しますので、必ずご確認ください。

8. 合格発表・入学日

8.1 合格発表日

〔一次募集〕 2025年 10月 7日（火）13時

〔二次募集〕 2026年 3月 6日（金）13時

※一次募集において定員を充足した場合には、二次募集はいたしません。

8.2 合格発表の方法

- (1) 本学Webサイトに合格者受験番号を掲載します。
 - ・本学キャンパスでの合格者受験番号の掲示は行いません。
 - ・電話・電子メールなどによる問い合わせには応じません。
 - ・「本学Webサイトへの合格者受験番号の掲載」に同意しない場合は、志願票（A票）の該当欄にレ点を記入してください。
- (2) 合格発表後、受験者本人に合否通知書を郵送します。

8.3 入学日

2026年4月1日（火）（入学式については別途お知らせします。）

9. 入学手続・初年度納付金

9.1 入学手続期間

〔一次募集〕 2025年 10月17日（金）～ 10月22日（水）（期間内の消印有効）

〔二次募集〕 2026年 3月 9日（月）～ 3月14日（土）（期間内の消印有効）

※一次募集において定員を充足した場合には、二次募集はいたしません。

9.2 入学手続

入学手続は郵送（簡易書留）でのみ受け付けます（期間内消印有効）。

- (1) 入学手続についての詳細と必要な書類は、合格通知書と共に受験者本人あてに郵送します。
- (2) 手続書類に不足、不備がある場合には手続ができません。
- (3) 納付された入学料はいかなる理由があってもいっさい返還しません。

9.3 初年度納付金

区 分		金 額	備 考
入 学 料	神奈川県内在住の者	141,000円	9.1の入学手続期間内に納付してください。 1) 神奈川県内在住とは入学者本人が合格発表の日（一次募集：2025年10月7日、二次募集：2026年3月6日）の1年前から引き続き神奈川県内に住所を有する（住民票がある）者をいいます。 2) 本学学部を卒業した者（卒業見込みの者を含む）又は本学大学院を修了した者（修了見込みの者を含む）は全額を免除します。
	神奈川県外在住の者	282,000円	
授 業 料		535,800円	入学後に前期・後期の2回に分けて納付していただきます。
その他の経費		テキスト代等の実費です。	

* 表に記載の金額については変更になることがあります。

* 10. 特待生制度によって、特待生として選考された者については、入学料の全額を免除しますので、入学料を納付いただく必要はありません。

10. 特待生制度

入学者選抜試験（1次募集）における成績が特に優秀な者を特待生として選考します。特待生として選考された者については、合格通知書とともに特待生通知書を送付します。特待生については入学料を全額免除します。

対象となる人数は、次のとおりです。

	人数
保健福祉学研究科保健福祉学専攻	1名以内

（※）試験の状況により、特待生を選考しないこともあります。

○入学者選抜業務に係る個人情報の取扱いについて

本学では、入学者選抜業務に際して志願者から収集した個人情報について、次のように取り扱います。

区 分	収集した個人情報の取扱い
選抜に合格し、入学手続を行った場合	入学後の学籍簿や成績簿等の作成のため、引き続き利用します。
選抜に合格したが、入学手続を行わなかった場合、選抜に不合格となった場合	2027年3月31日までにすべて廃棄します。

1 1. 教育課程の概要

授 業 科 目 の 概 要	授業科目の名称		配 当 年 次	単位数			授業形態			時 間 数	備 考		
				必修	選択	自由	講 義	演 習	実 習				
	(保健福祉学研究科保健福祉学専攻 博士後期課程)												
	保健福祉共通科目	対人援助特論		1・2	2			○			30	2単位必修	
		保健福祉人材育成論		1・2		2		○			30		
		多職種連携システム開発演習		1・2		2			○		30		
		自然科学系アカデミックライティング		1・2		1		○			15		
		社会科学系アカデミックライティング		1・2		1		○			15		
		サービス評価研究特論		1・2		2		○			30		
		生命科学特論		1・2		2		○			30		
		保健福祉学特論		1・2		1		○			15		
	保健福祉専門科目	看護系	看護研究特論		1・2		2		○			30	4単位以上選択（うち、他系への開放科目＜看護研究特論、食品健康科学特論、保健福祉栄養評価論、児童福祉学特論、医療福祉学特論、リハビリテーション認知学習行為学特論＞から自己の専門系ではない科目を2単位以上選択）
			成長発達期健康看護特論		1・2		2		○			30	
			療養期健康看護特論		1・2		2		○			30	
			包括支援看護特論		1・2		2		○			30	
		栄養系	食品健康科学特論		1・2		2		○			30	
			保健福祉栄養評価論		1・2		2		○			30	
		社会福祉系	児童福祉学特論		1・2		2		○			30	
			地域共生実践・政策特論		1・2		2		○			30	
			医療福祉学特論		1・2		2		○			30	
		リハビリテーション系	リハビリテーション病態解析学特論		1・2		2		○			30	
	リハビリテーション認知学習行為学特論		1・2		2		○			30			
	保健福祉演習科目	成長発達期健康看護演習		1・2		2				○		30	2単位以上選択
		療養期健康看護演習		1・2		2				○		30	
		包括支援看護演習		1・2		2				○		30	
		食品健康科学演習		1・2		2				○		30	
		保健福祉栄養評価演習		1・2		2				○		30	
		児童福祉学演習		1・2		2				○		30	
		地域共生実践・政策演習		1・2		2				○		30	
		医療福祉学演習		1・2		2				○		30	
		リハビリテーション病態解析学特論演習		1・2		2				○		30	
リハビリテーション認知学習行為学演習		1・2		2				○		30			
保健福祉研究科目		保健福祉学特別研究		1～3	10					○		150	10単位必修
学位又は称号		博士（保健福祉学）		学位又は学科の分野			保健衛生学関係（看護学関係）、家政関係、社会学・社会福祉学関係、保健衛生学関係（リハビリテーション関係）						
修了要件及び履修方法								授業期間等					
保健福祉共通科目6単位以上、保健福祉専門科目4単位以上（うち、他系への開放科目＜看護研究特論、食品健康科学特論、保健福祉栄養評価論、児童福祉学特論、医療福祉学特論、リハビリテーション認知学習行為学特論＞から自己の専門系ではない科目を2単位以上）、保健福祉演習科目2単位以上、保健福祉学特別研究10単位を修得し、合計22単位以上を修得すること。修了要件は、博士後期課程に3年以上在学し、授業科目について、所定の単位数を修得し、必要な研究指導を受け、学位論文の審査に合格すること。								1 学年の学期区分		2期			
								1 学期の授業期間		15週			
								1 時限の授業時間		90分			

授業科目等は予定であり、一部変更される場合があります。

12. 研究指導に関わる教員の研究テーマ及び事前相談連絡先

受験希望者は指導を受けようとする指導教員の連絡先に期限までに必ず出願前相談をしてください。

指導教員とその研究テーマ（50音順）

担当教員	主な研究テーマ	連絡先
生田 倫子 -臨床心理学、家族心理学、 家族療法/ブリーフセラピー	ストレス、精神病理、メンタルヘルスに関する諸問題、家族支援、関係者支援、組織システムへの介入などを中心とした臨床心理学分野に関する研究指導を行う。特に問題を持つ個人を支える家族システムを含めた見立てと支援について、また学校や職場などのその他機関を含めたシステム論的視座とその介入について、またシステムを把握するための臨床心理学的コミュニケーション研究を専門領域とした研究指導を行う。	jsd1@kuhs.ac.jp
川名 るり -小児看護学	子どもと家族への看護に関する優れた実践やわざの言語化、および小児看護の基礎教育や継続教育における学習環境デザイン、集合的発達などの研究課題について、状況論的アプローチ、フィールドワークを中心とした研究指導を行う。	jsd2@kuhs.ac.jp
城川 美佳 -公衆衛生学、国際保健	対象者に見合った健康関連情報の提供のあり方に関する研究をテーマとした研究を指導する。対象としては①小児、②社会的弱者（滞日外国人、路上生活者）であり、課題としては a. 保健教育教材の開発、b. 提供媒体である。	jsd3@kuhs.ac.jp
木村 芳滋 -解剖学、細胞生物学、発生生物学、 分子遺伝学	老化関連疾患（がん、神経変性疾患、代謝疾患など）の分子基盤を明らかにするため、線虫C.エレガンスをモデル生物として利用した分子遺伝学的手法に関し研究指導を行う。	jsd4@kuhs.ac.jp
倉貫 早智 -栄養生理学、分子栄養学	日本型食生活の有効性や食品の機能性をヒト試験で検証し、これらを活用した具体的な食生活のあり方およびそのシステムに関する研究。	jsd5@kuhs.ac.jp
五味 郁子 -臨床栄養管理	入院患者、高齢者等対象に応じた栄養管理の評価指標を検討し、栄養管理の意義を明らかにする研究。また、管理栄養士（専門職）として臨床倫理を視点とした研究。	jsd6@kuhs.ac.jp
笹田 哲 -発達障害作業療法	高機能自閉症、学習障害児を対象に、学習、認知について感覚統合理論、人間作業モデルの理論を中心とした研究指導を行う。	jsd7@kuhs.ac.jp
志村 華絵 -内科学、血液内科学、老年医学	白血病細胞の分化増殖抑制、新規治療薬の開発、貧血の病態生理に関する研究指導を行う。また、高齢者と幼児の世代間交流が両者に及ぼす影響に関する研究指導を行う。	jsd8@kuhs.ac.jp
白濱 勲二 -身体作業療法学、認知・高次神経 作業療法学	脳卒中・骨関節疾患や加齢による身体機能障害、認知機能障害、高次神経障害、QOL などの研究課題について、分野や研究方法を限定しない、広い学問領域を活用したリハビリテーション分野の研究指導を行う。	jsd9@kuhs.ac.jp

担当教員	主な研究テーマ	連絡先
新保 幸男 -児童福祉学、社会福祉学	児童福祉学の主要課題である児童虐待、子どもの貧困、社会的養護、子育て支援、児童の最善の利益などに関する研究指導を行う。また、社会福祉学の主要課題である公私関係論、自己決定論、倫理的ジレンマなどに関する研究指導を行う。	jsd10@kuhs. ac. jp
菅原 憲一 -基礎理学療法学、神経生理学、電気生理学、運動制御学	リハビリテーションにおける各種疾患から生じる運動障害を改善することを目的として、上位・下位中枢神経系による随意運動制御メカニズムについて電気生理学的解析手法を中心にした研究指導を行う。 また、主に脳波・筋電図を用いた基本動作、歩行等の動作を解析し運動障害の解明および理学療法における新たな展開を検討する研究を指導する。	jsd11@kuhs. ac. jp
鈴木 志保子 -スポーツ栄養学	アスリートの栄養管理（スポーツ栄養マネジメント）における評価法の開発に関する研究指導を行う。また、体力、身体組成、生活習慣の経年的な変化から子どもの発育発達への影響について研究指導を行う。	jsd12@kuhs. ac. jp
駿藤 晶子 -給食経営管理学	AI（人工知能）システムの栄養指導業務利用への実用性の検証、AIシステムの課題抽出、システムの機能向上を目指した研究。また、給食経営管理の現状の課題の分析と実習プログラムの開発。	jsd13@kuhs. ac. jp
成 耆鉉 -分子遺伝学、応用昆虫学、昆虫生理学	生物学的に面白い事象の分子機構の理解や、昆虫の未知の特性の発掘と実社会への応用を目指した、基礎及び、応用研究を行う。現在、アメリカミズアブ、ショウジョウバエをメインに用いているが、他の昆虫も適宜扱う。現在取り組んでいる具体的研究としては、①昆虫生体の透明化技術開発、②アメリカミズアブの飢餓超耐性の分子機構の研究、③ショウジョウバエ一生まるごと記録装置の開発とその応用がある。	jsd14@kuhs. ac. jp
臺 有桂 -公衆衛生看護学、地域看護学	公衆衛生看護や在宅ケア実践およびその人材育成、地域データの分析から保健医療福祉計画策定や事業化・施策化するプロセス、および健康なコミュニティづくりに関する研究指導を行う。	jsd15@kuhs. ac. jp
高橋 恭子 -社会事業史、社会福祉史	近現代の社会構造的変動の過程において生じる生活上の諸問題と、その問題解決に取り組んだ人物、思想、実践について、歴史研究の手法を用いて明らかにする社会事業史・社会福祉史に関する研究指導を行う。	jsd16@kuhs. ac. jp
田中 和美 - 栄養政策、公衆栄養学	①特定保健指導（生活習慣病）、②介護予防、③認知症、終末期の対象に応じて、栄養支援の在り方を検討し、健康・福祉関連にとどまらない、社会全体から見た栄養政策のあり方およびそのシステムに関する研究。	jsd17@kuhs. ac. jp

担当教員	主な研究テーマ	連絡先
谷口 千絵 -助産学、リプロダクティブ・ヘルスケア、ウィメンズヘルスケア	周産期の女性への支援および看護ケアに関する評価研究および看護ケア提供者の技術向上・維持に関するプログラムの検証について研究指導を行う。	jsd18@kuhs. ac. jp
津田 学 -遺伝学、細胞生物学、生化学分子生物学	モデル生物であるショウジョウバエを用いて、糖尿病や肥満などの生活習慣病の発症機序について分子レベルで解明する研究指導を行う。	jsd19@kuhs. ac. jp
遠又 靖丈 -栄養疫学、分析疫学、老年学	①ヘルスサービスの事業評価（効果評価など）に関する疫学的研究、②老化（生活機能低下、認知症など）に寄与する予防因子の解明やその公衆衛生的インパクトを解明するための疫学的研究、③食事パターンに関する疫学的研究、などについて指導する。	jsd20@kuhs. ac. jp
中村 美安子 -地域福祉、在宅サービス、住民福祉活動	地域福祉、特に地域での生活継続に必要なサービスや活動、活動拠点のあり方や確保方策などに関する研究を指導する。	jsd21@kuhs. ac. jp
野村 美香 -がん看護、緩和ケア、急性期看護	がん患者の療養過程で行われる緩和ケア、がん患者・家族の療養生活、療養の場や治療方針の移行に対するケアプログラム開発、及びがん看護分野における継続教育に関する研究の指導を行う。疾患・治療により侵襲を受ける急性期患者の回復や苦痛緩和のためのケアに関する研究の指導を行う。	jsd22@kuhs. ac. jp
平瀬 達哉 -地域理学療法学、予防理学療法学、ペインリハビリテーション	高齢者の健康寿命の延伸に寄与するリハビリテーション戦略を確立するための研究指導を行う。具体的には、地域フィールドでの調査研究や介入研究を通して、転倒予防や疼痛対策ならびに高齢者特有の病態であるサルコペニア・フレイルの進行および発生予防に効果的な評価や介入戦略の確立に向けた研究指導を行う。	jsd23@kuhs. ac. jp
深沢 和彦 -教育心理学、学校心理学	児童生徒や教師へのアセスメントから得られたエビデンスを基にした学校組織づくりと教育実践の在り方に関する心理学的アプローチによる実践研究。養護教諭を教職員協働の核とした教育実践に関して研究指導を行う。	jsd24@kuhs. ac. jp
間瀬 由記 -慢性看護、生活習慣病看護、エンドオブライフケア	生活習慣病やフレイルの予防、慢性的に経過する病をもつ患者・家族の療養生活やエンドオブライフを支援する看護に関する研究の指導を行う。当事者の体験世界を明らかにする質的研究やクライアントの持てる力を引き出し地域での暮らしを支えるためのケアプログラムの開発と評価に関する研究の指導を行う。	jsd25@kuhs. ac. jp
水戸 優子 -基礎看護学、看護技術学、看護人間工学、看護教育学	対象者が安全で安心して生活行動を行えることを援助するための看護技術および教育・指導を含むケアプログラムの開発と検証についての研究指導を行う。対象者に必要な看護技術のコアとなる要素の抽出、エビデンスの明確化、職種を超えた連携・協働に基づき有機的に遂行可能なケアプログラムの開発をめざす。	jsd26@kuhs. ac. jp

担当教員	主な研究テーマ	連絡先
宮芝 智子 -看護教育学	看護学各領域の教育に普遍的に存在する要素に焦点を当て、看護学生を含む看護職者個々の発達を支援することに寄与する看護基礎教育、継続教育、卒後教育のあり方およびそれらの評価方法の開発・検証等に関わる研究指導を行う。	jsd27@kuhs. ac. jp
向井 友花 -食品化学、栄養生化学、食品機能学、食品衛生学	食品成分の摂取が生体内の栄養素の代謝調節に及ぼす影響について、代謝関連因子の遺伝子発現や酵素活性調節といった生体の分子メカニズムを、実験動物や培養細胞を用いた実験手法により解析する研究。	jsd28@kuhs. ac. jp
村上 明美 -助産学、リプロダクティブ・ヘルスケア、ウィメンズヘルスケア	女性を取り巻くリプロダクティブ・ヘルスの課題について、健康支援方法の開発・検証、周産期における助産管理、助産師教育課程・方法等に関する研究指導を行う。	jsd29@kuhs. ac. jp
村越 智 -侵襲代謝栄養学	周術期や重症外傷など生体侵襲時には適切な栄養管理が重要である。侵襲時の生体反応を適切に調整する栄養成分（アミノ酸など）を探索し、その作用機序や投与方法を動物や細胞を使用した基礎実験にて解析し、生体侵襲時の栄養管理の適正化につなげる研究を行う。	jsd30@kuhs. ac. jp
山西 倫太郎 -食品栄養科学	食べ物と健康との関係を明らかにする目的で、おもに実験動物や培養細胞を用いて、中間指標（酸化還元状態 等）・最終的な生理活性（免疫活性等）に及ぼす食品成分の影響を解析する実験研究を指導する。	jsd31@kuhs. ac. jp

指導補助教員とその研究テーマ

担当教員	主な研究テーマ	連絡先
石原 美和 -看護政策、看護システム開発、健康危機管理	看護をめぐる制度・政策とその評価、地域や病院・施設における看護システム・サービスの開発、健康危機管理における看護に関する研究。	jsdh1@kuhs. ac. jp
大島 憲子 -高齢者看護学、認知症施策、多職種連携	認知症施策と認知症ケアの質の向上に関する実践研究 地域における保健・医療・福祉専門職の多職種連携、在宅医療・介護連携及び家族支援に関する研究。	jsdh2@kuhs. ac. jp
奥原 孝幸 -精神障害者リハビリテーション、リカバリー	精神障害領域におけるリハビリテーションおよびリカバリーに関する研究。	jsdh3@kuhs. ac. jp
加藤木 真史 -基礎看護学、看護技術学	看護技術のエビデンス、入院患者の離床・活動を促す看護介入プログラムの開発、排便状態のアセスメントツールの開発、便秘症状を緩和する温電法のエビデンス等に関する研究。	jsdh4@kuhs. ac. jp
黒河内 仙奈 -高齢者看護、リハビリテーション看護、多職種連携	高齢者が住み慣れたまちで暮らすための支援およびロボットを用いた介入研究、回復期リハビリテーション病棟におけるエビデンスに基づいた実践（EBP）の実装、長期ケア施設に勤務する看護師のキャリアビジョンに関する研究。	jsdh5@kuhs. ac. jp

担当教員	主な研究テーマ	連絡先
小林 理 -家庭福祉学、子ども家庭ソーシャルワーク	子どもと家庭への支援実践としくみについての研究、家族ソーシャルワークと制度に関する研究、家庭とソーシャルサポートに関する研究、社会福祉専門職の実践と制度に関する研究などについて指導する。	jsdh6@kuhs. ac. jp
鈴木 智高 -基礎理学療法学、身体運動学、運動制御学	表面筋電図や歩行分析機器を使用した動作の評価、自作アプリを使用した注意需要の評価等により、運動学、運動力学、神経生理学的観点から運動制御や注意機能を明らかにする研究。	jsdh7@kuhs. ac. jp
高橋 奈津子 -慢性看護、がん看護	慢性疾患患者の体験、セルフマネジメント、意思決定支援、エンドオブライフケアに関する研究 がん・生殖医療、がんサバイバーシップに関する研究。	jsdh8@kuhs. ac. jp
行實 志都子 -当事者研究、障害者の就労支援	ピアサポート活動による当事者自身のリカバリーやそれらを支援する専門職の役割に関する研究。職業リハビリテーションに関する研究。	jsdh9@kuhs. ac. jp

指導補助教員の研究テーマに関心のある方は、指導補助教員にメールで連絡して下さい。この場合は、連絡した指導補助教員と相談し、指導を受けようとする指導教員を決め、志願票（A票）の「希望する指導教員欄」には、指導教員の氏名を記載して下さい。

13. 試験結果の開示について

個人成績の内容（情報）を開示請求できる制度があります。ただし、個人情報保護のため受験者が本人の成績を開示請求する場合に限られます。

(1) 開示する内容（入学者選抜試験個人成績）

口述試験の得点

(2) 開示請求の受付

受験生本人が直接窓口で受付することを要します。

① 請求期間

〔一次募集〕2025年10月7日（火）から2025年11月7日（金）まで（土日祝日を除く）

〔二次募集〕2026年3月6日（金）から2026年4月6日（月）まで

（土日祝日、3月11（水）日及び3月12日（木）を除く）

② 受付時間帯

平日 9時から17時（ただし10月7日（火）、3月6日（金）は13時から）

③ 受付場所

神奈川県立保健福祉大学事務局 企画・地域貢献課

④ 請求に必要な書類

2026年度本学大学院（博士後期課程）入学者選抜試験の受験票（B票）

（本人であることを確認します。）

(3) 成績開示の場所および開示方法

神奈川県立保健福祉大学事務局 企画・地域貢献課において成績を開示します。

開示方法は、入学選抜試験個人成績（本人分）の閲覧によります。

※電話等での請求にはいっさい応じられません。

※代理人は請求できません。

14. 出願・受験・入学までの流れ

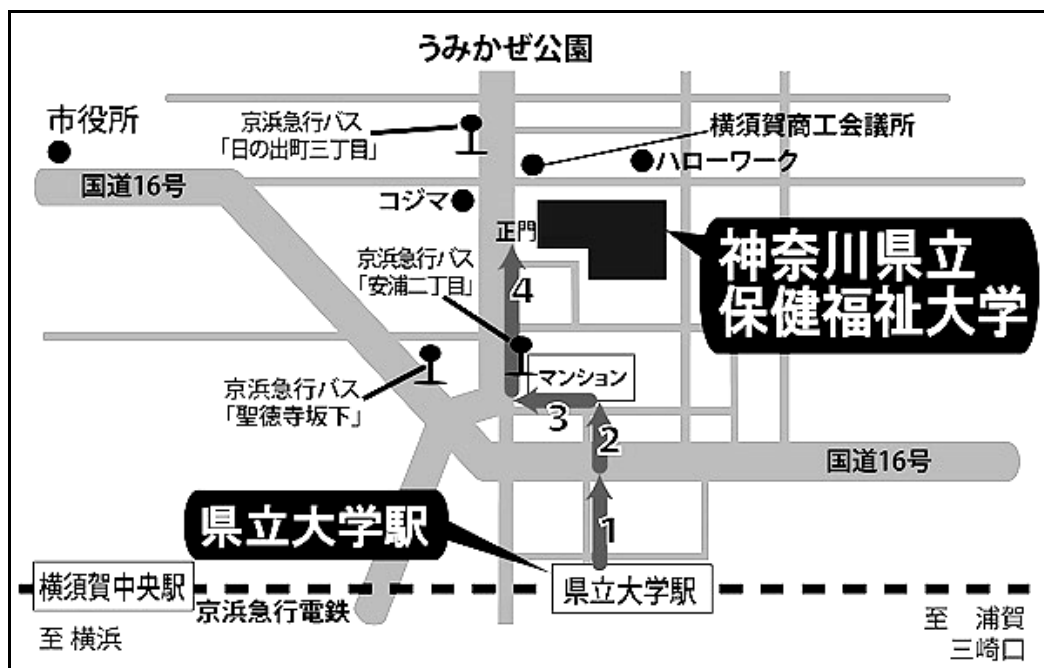
◎一次募集

出願前相談メール受付期間	2025年5月30日（金）～ 2025年8月6日（水）
出願資格審査期間（該当者のみ）※	2025年7月4日（金）～ 2025年7月16日（水）
出願期間	2025年7月26日（土）～ 2025年8月17日（日）
試験日	2025年9月20日（土）
合格発表	2025年10月7日（火）
入学手続期間	2025年10月17日（金）～ 2025年10月22日（水）

◎二次募集（一次募集において定員を充足した場合には、二次募集はいたしません。）

出願前相談メール受付期間	2025年11月13日（木）～ 2026年1月21日（水）
出願資格審査期間（該当者のみ）※	2025年12月4日（木）～ 2025年12月16日（火）
出願期間	2026年1月10日（土）～ 2026年2月1日（日）
試験日	2026年2月27日（金）
合格発表	2026年3月6日（金）
入学手続期間	2026年3月9日（月）～ 2026年3月14日（土）

※出願資格に関する項目です。該当する方は「5. 出願資格審査申請」をお読みください。



- ・試験当日は、正門以外からは入場できません。
- ・京浜急行電鉄「県立大学」駅より徒歩約7分

公立大学法人神奈川県立保健福祉大学

〒238-8522 横須賀市平成町1-10-1

代表電話 046(828)2500 FAX 046(828)2501

大学院保健福祉学研究科入学選抜に関するお問い合わせは、

本学事務局企画・地域貢献課大学院入試担当へ

電話 046(828)2530

土日祝日を除く 8:30~17:15

Webサイト <https://www.kuhs.ac.jp> 電子メール nyusi@kuhs.ac.jp